

平成29年度愛知県がんセンター公開講座(第5回)のご案内
「がん免疫療法の新しい展開」
= 平成30年2月17日(土)開催 =

< 講師からのメッセージ >

「がん免疫療法の基礎知識ー免疫とはどんな仕組みですか?ー」

「がん免疫療法は種類が多くて分かりにくい」「そもそも免疫とは何かよく分からない」という声をしばしば聴きます。がん免疫療法の歴史は長く、BCG、ピシバニール、クレスチンなどの非特異的がん免疫療法、がんワクチンや樹状細胞療法などの特異的免疫療法を経て、新たな時代に入っています。講演ではがん免疫の基礎知識と歴史について概説します。

近年注目されている「免疫チェックポイント」を解除する抗体薬は、一部の患者さんに著明な効果がある一方、効果が出ない患者さんも多くいます。この違いがどこに起因するのか、がん免疫学の最新知見を織り交ぜて解説したいと思います。

研究所 腫瘍免疫学部 部長 葛島 清隆

「胃がんをはじめとする消化器がんの免疫療法」

日本人でがんによる死亡者数が、肺、大腸がんに多いのが、胃がんです。胃がんの治療法には内視鏡的粘膜切除術、外科的切除術、全身化学療法があります。化学療法には、従来のがん剤治療のほか、抗HER2阻害薬(トラスツズマブ)、血管新生を阻害する抗VEGFR2阻害薬(ラムシルマブ)といった分子標的治療薬があります。最近、種々のがんで話題の免疫チェックポイント阻害剤(抗PD-1抗体薬)が進行胃がんにおいてもその有効性が確認され、実地臨床でも使用可能になりました。

抗PD-1抗体薬は今後、胃がんにおいても大きな役割を果たすことが期待されています。切除不能進行・再発胃がんはまだまだ厳しい病気ですが、確実に進歩していることを知っていただき、信頼できる医療者とともに希望を持って治療に取り組んでいただきたいと思います。

中央病院 薬物療法部 部長 室 圭

「難治性頭頸部がんに対する免疫療法」

再発や転移性頭頸部がんである難治性頭頸部がんに対して免疫療法が平成29年度より保険適応となりました。公開講座で「難治性頭頸部がんに対する免疫療法」について講演しますのでよろしくお願ひします。

中央病院 頭頸部外科部 医長 鈴木 秀典